

多焦点眼内レンズ これまでとこれからを考える

日時

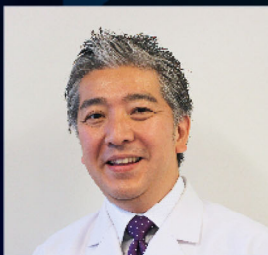
2023年 6月 23日 金
12:40~13:40

場所

第 8 会場

(札幌コンベンションセンター 206)

座長



岡 義隆

医療法人先進会 先進会眼科 理事長
岡眼科飯塚クリニック 院長



武蔵 国弘

医療法人創夢会 理事長
むさしドリーム眼科 院長

多焦点眼内レンズを用いた白内障手術は 2020 年 4 月に選定療養となり、3 年が経過した。2008 年に多焦点眼内レンズが先進医療の対象となってから 15 年間に数多くのレンズが開発・販売されてきたが、これまでの経過をふまえた多焦点眼内レンズの最近の動向について改めて見直してみたい。

今回のセミナーでは木村格先生には「選定療養対象の多焦点眼内レンズ」として、現在の主流となっている 3 焦点レンズ Clareon PanOptix®、連続焦点レンズ Synaregy®、そして新たに選択肢に加わった焦点拡張レンズ Clareon Vivity® について、佐藤香先生にはその他の「自由診療となる多焦点眼内レンズ」について幅広くご紹介いただき、最後に野口三太郎先生には「多焦点眼内レンズの未来」をテーマにお話しいただきます。

当セミナーは一般社団法人眼科先進医療研究会が主催であり、企業や医局のバイアスが一切なく、忌憚のない議論が可能となっています。

多くの先生方に参加していただき、活発な討論が展開されてレンズ選択に役立つ情報となれば幸いです。

演者



「選定療養」

木村 格

木村眼科内科病院 総院長



「自由診療」

佐藤 香

アイケアクリニック 院長



「多焦点眼内レンズの未来」

野口 三太郎

ASUCA アイクリニック 主任執刀医
三栄会ツカザキ病院 眼科医長